

平成28年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第1学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・言語についての知識・理解・技能が目標値より低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習得すべき漢字の復習を毎時間行う。 ・視写課題を通して書く力をさらに高めるとともに、文章を読み解く力を養っていく。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な技能が低く、特に数と計算が低い。 ・数学的な知識理解を定着させる。 ・数学的な見方考え方を伸ばしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より授業に集中させ、理解度を高めていく。 ・間違いやすい箇所を特に強調し印象づける。 ・より多くの問題に取り組みせ、正確に速くをめざしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にある復習の時間で以前の学習内容を理解して発言する生徒が一部に偏っている。「知識・理解」の定着が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地理の国や地形の知識・理解、そして歴史の知識・理解がかなり低いので、定期的な小テスト等を増やす。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な知識の定着が低い。 ・理科に対する興味が薄く、関心も低い。 ・自分の考えを表現する力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを複数回繰り返す。 ・身近な事象と学習内容と関連づけ、興味をもたせる。 ・必ず自分の意見をワークシートに記入するようにする。その後、班内での討論から、クラスへの討論を展開し表現力を高める。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜力や、リコーダーの運指の能力の個人差が大きい。 ・歌唱に必要な発声がなかなか身に付かない。 ・音楽の要素や楽曲が表すことに気付く力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜は、難易度の低い短い曲で練習し、苦手意識をなくす。 ・基礎的な奏法から曲に合った表現力まで、個々に応じた指導を心がける。 ・正しい発声方法や美しい歌声を理解させ、イメージを持って表現できるようにする。 ・楽曲を聴く際に、着目する点をわかりやすく提示する。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具や、はさみ・のりといった身近で生活に密着した道具を、安全に的確に使いこなす力の低下。 ・自国、諸外国の美術の歴史と美術文化を学ぶ機会の減少。 ・日常生活の中に様々な美術的要素があるという視点の不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具を使用するデザインの題材を設定し、塗る順序や塗り方の技能などを細かく板書・掲示し、実演も含めて指導する。また、コラージュの題材を通して、はさみ・のりの適切な扱いを学ばせる。 ・美術史をタイムトラベル形式で疑似体験させる授業を通して、歴史や美術文化に興味を持たせる。 ・プロダクトデザインを授業に取り入れ、日常生活と美術の密接な関わりに気付かせる。
保健体育	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩し、見学をする生徒が多い。 ・コツコツと努力して、結果につなげることに意識が薄い。苦手意識から、全力を出し切れない生徒が多い。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律に課題がある。種目によって見学生徒が多い。 ・身体能力が低い生徒が多い。 	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調が不十分であっても参加できる工夫をする。 ・心と体の関連について指導を深め、プロセスを重要視する授業展開を行う。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の展開、行動基準を明確に示し、主体的に活動できるよう働きかける。 ・準備体操の内容を精査し、体力向上を図る。
技術・家庭	<p>(技術科)</p> <p>定規、さがしね等で直線を正確に引いたり、ミリ単位で長さを測定することが不得意な生徒も多く、中には引いた線が全く直線にならない生徒もいる。</p> <p>(家庭科)</p> <p>学習意欲に差がある。計算や作業の技術に不得手意識をもっている。知識を持って作業に取り掛かろうとしないで楽に済ませようとする生徒がいる。</p>	<p>(技術科)</p> <p>演習課題を工夫し、できるだけ多く線を引くように工夫をする。特に今年度はトレース(トレーシングペーパーを使って図を写しかえる)を多く取り入れた製図の授業を行う。</p> <p>(家庭科)</p> <p>その日の目標を持たせて毎時間反省させる。簡単な作業をさせてできる実感を体験させる。友人の実習の様子で意欲を持たせる。</p>
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい綴りで英語を書くことが苦手な生徒が多い。 ・文法に沿って正しい英語を話すことが苦手な生徒が多い。 ・自分の考えを英語で表現する活動が苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム形式で楽しみながら英単語を書く活動を取り入れる。 ・新出事項を学習する際には、言語活動を通して実際に英語を使う能力を高める。 ・スピーチや英作文を通して自分の意見を自在に表現できる力の素地を養う。